

各 位

2026 年 7 月 14 日
株式会社リットーミュージック

あの頃、ギター・ヒーローになりたかった
すべての大人ギタリストへ
正源司陽子（日向坂 46）が表紙の「ギター・マガジン・レイドバック第 19 号」発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン・レイドバック Vol.19』を、2026 年 7 月 13 日に発売しました。

レイドバックとは？

ゆったりした、とか、くつろいだ、という意味です。大人のギタリストはもうアクセク弾くのはやめて、ゆっくり楽しくギターを弾こうよという意味が込められています。

ゆる〜くギターを弾きたい大人ギタリストのためのギター専門誌第 19 弾！

古き良き時代にギターを始めた大人世代に向けたギター誌『ギター・マガジン・レイドバック』の第 19 弾です。誰もが憧れた懐かしのギター・ヒーロー、思い出深い名器、当時コピーに挫折した名演などにスポットを当て、ノスタルジックな目線でもう一度ギターの魅力を探っていきます。現役の親父ギタリストはもちろん、ギターを押し入れにしまってしまった方も、レイドバックした気持ちでもう一度我々と一緒にギターを弾いてみませんか？ セカンド・ライフをギターと楽しく過ごしましょう。

■書誌情報

書名：ギター・マガジン・レイドバック Vol.19

定価：2,420 円（本体 2,200 円＋税 10%）

発売：2026 年 7 月 13 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3126251001/>

CONTENTS

◎表紙・巻頭インタビュー みんなギターで大きくなった

正源司陽子（日向坂 46）

日向坂 46 のステージで豪快にエレキ・ギターをかき鳴らす正源司陽子が表紙・巻頭に登場。舞台度胸満点の 19 歳にギターについて、アイドル活動について聞く。



◎特集

Jフュージョンに世界が夢中！

近年のシティポップ再評価を発端として、日本のフュージョン・ブームが世界中で巻き起こっている。高中正義が海外公演を次々にソールドアウトさせ、現地の若者が総立ちで熱狂している動画が SNS に数多く上がっている状況だ。また、CASIOPEA も 9 月 12 日に LA でワンマン・ライブを開催することが決定。そこで今回は、ますますの盛り上がりを見せるフュージョン・シーンを大きく取り上げていく。70 年代クロスオーバーのムーブメントを皮切りに、80 年代の日本的なフュージョンの確立と名手・名盤の紹介、90 年代以降の衰退という歴史をさらしつつ、レイドバック世代にも注目してほしい若手ギタリスト、佐々木秀尚（有形ランページ、TRIX、etc）、瀬川千鶴、北川翔也（DEZOLVE）にも登場いただく。高中正義の最新ロンドン公演のライブ・レポートも含めた大特集、乞うご期待！



◎レイドバック・ルポ

追悼 椎名和夫

2026年2月、またひとり名手が旅立った。椎名和夫。ムーンライダーズの初代ギタリストであり、70年代末から80年代にかけて山下達郎バンドでも活躍、またアレンジャーとしても日本のポップス・シーンに貢献した。東京に生まれ、バンドを組んで活動。吉田美奈子のライブに参加したのを機にプロに。メキメキと頭角を表し、膨大な数のレコーディングに参加していく。後年は、アーティストやミュージシャンの著作権隣接権の権利処理を適切に行い、その権利を守り拡充していく活動を行うMPNの会長としても活動した。その73年の生涯を振り返ってみたい。



◎にっぽんのマスター・ビルダー紳士録
乳井和彦（PGM）

少数精鋭で丁寧なギター作りを行う PGM のマスター・ビルダー、乳井和彦を取り上げる。



◎レイドバック・セミナー
大人のスケール攻略メソッド
第1回：基本スケールをマスターする！

これまで長年ギター・ライフを楽しんできたレイドバック世代は、その中でいろいろなスケールに接してきたはず。しかし、スケールは知っていても、いいフレーズが弾けないという読者も多いだろう。そんなお悩みを解消するスケール攻略セミナー。大人は適材適所のフレーズ・センスで魅せよう！

◎レイドバック・セミナー
レイドバック・リペアマン対談 西村秀昭×竹田豊×深野真

リペアマン同士は意外と仲がいい。しかし、価値観のすべてを共有しているわけでもない。腕利きリペアマンである筆者が同業者を招いて、日頃疑問に思っていることを聞いてみた。そもそもなぜこの道を選んだのか？ 今もなお情熱を失わず活動できている原動力とは？ 将来の後継者やこの業界に対して何を思うのか？

◎レイドバック・セレクション

「BOMBER」 山下達郎

好評連載

- ・その時、デヴィッド・ギルモアはブラック・ストラトを弾いた
- ・ビンテージ・ギター・カフェ 1965年フェンダー・ストラトキャスター ショアライン・ゴールド
- ・よっちゃんのギターいじり ism 野村義男
- ・あの頃、ライブ盤でごはん3杯
- ・定年後に聴きたいおニューミュージック
- ・イマ会に行けるご当地トリビュート・バンド BLUE LAGOON (高中正義トリビュート・バンド)
- ・洋楽ディレクター地獄の回想

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp